

めぐみの糧

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つの言葉による。」
（マタイ4章4節）

二つの平和

湯浅 修

「わたし（イエスキリスト）は、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。」（ヨハネの福音書一四章）

二つの絵

終戦後、ドイツの一人の伯爵がありました。彼は親友の画家に、次のような依頼を致しました。

「私たちの国は滅び、自分も戦争ですべてを失った。現在も将来も不安だが、心の慰めるために、その「平安」を象徴した絵を描いてもらいたい。」

画家は、伯爵のために三ヶ月かかって、一枚の絵を描き上げました。

第一の絵

森に囲まれている美しい湖。

湖面には満月の影。いかにも静寂で「平和」そのものを象徴していました。

しかし、じっと見ていた伯爵の顔には、落胆の表情が浮かんだのです。

「先生、これはいかにも美しく、平和なものですが、もしも一陣の風が吹けば、湖面の静寂は一瞬のうちに破られ、満月も千々に千切れてしまいます。私の求めている平安は、どんなすさまじい嵐にも、微動だにしない平和なのです。」

その後、友人はもう一枚の絵を描き、伯爵の元に持参しました。

第二の絵

ものすごい滝が下の滝壺に、どつどつ落ち込んで、画面全体は、もうもつたる水煙に覆われ、見るからにすさまじい風景。

ところがよく見ると、その中程に突き出ている一本の枝があり、その枝に小鳥が巣を作っています。さらによく見ると、その巣の中には、かわいいひなが数羽、あどけないくちばしで、親鳥からえさをもらっているではありませんか！

これを見た伯爵は叫びました。「先生、ありがたうございます。私の求めている平安はこれです！」

この世の平安

この世は、確かに私たちに平安を与えます。しかしその平安は、外部の条件に依存した平安である、と言えらると思います。つまり、物事がうまくいっていることから来る平安です。健康の面でも、仕事の面でも、家庭の面でも、別に問題なく、万事うまくいっているということから来る平安です。しかし、もしも重い病気になればどうでしょう。また一家の柱を失ったり、自分の力でどうすることもできないような問題が起れば、どうなるでしょうか。

人生には、必ず試練がやって参ります。

今まで自分を幸せにしてくれていたものが無くなってしまう時、それまでの安心感、平安というものは、一瞬のうちになくなってしまうのではないのでしょうか。

ですから、この世の与える平安は、

「一時的な、外面的な平安、

外部の条件に依存した平安」

と言えるのです。あなたは今、平安な毎日をお過ごしでしょうか。そうであれば、その平安はどこからきているのでしょうか。世が与える平安は、一時的なものです。

キリストの平安

では、キリストの与える平安はどうでしょうか。それは、

「外部の条件によらない、心から、沸き上がる平安、

内面的な、永続的な平安」

と言うことができます。

もちろん、予期しない大きな問題が生じると、人間として、一時的に不安になることはあるでしょう。キリストの使徒パウロも、ある時、「心に安らぎがなかった。」と言ったことがあります。しかし、その不安はすぐに消え去り、彼はまたキリストの平安に満たされました。このようにキリストは、私たちが困難な状況に置かれても、無くなることのない平安を与えてくださるのです。重い病気になっても、仕事ができなくなっても、また、死に直面しても、無くなることのない平安です。これこそ、真の平安と言えるのではないのでしょうか。この世の平安は、物事が順調な時だけの平安です。しかし、キリストの与える平安は、状況に左右されずに、永続致します。

あの有名なパスカルは、言いました。

「人の心の中には、神が作った空洞がある。その空洞は創造者である神以外のものよつては埋めることができない。」

真の神（創造者）との交わりによってしか埋めることのできない、私たちの心の空洞を埋めて下さるために、神の御子イエス・キリストは天から人となつてこの世に、来てくださった。

そして、神と私たちの交わりの障害となつていた人間の罪を取り除くために、罪人の身代わりとなつて、十字架の上で神のさばきを受けてくださったのです。イエス・キリストは、あなたの心を喜び、平安、希望で満たすことのできる御方です。

（裏面に続きます）

めぐみバプテスト教会

東京都多摩市永山6-2-5永井ビル2F

Tel 042-374-2311

FAX 042-374-2311

木曜日 夜 7:00～8:30 祈り会

日曜日 朝 9:30～10:25 日曜学校

朝 10:45～12:15 礼拝

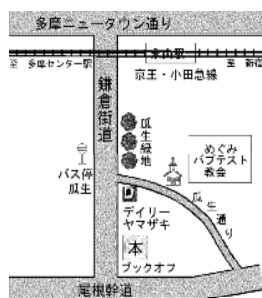
牧師：湯浅 修（ゆあさおさむ）

メール：qrkgp763@ybb.ne.jp

携帯Tel：080-5053-9206（湯浅）

ホームページ：「めぐみバプテスト教会」

と検索してください



ひとりのアメリカの婦人がベルシャ伝道に遣わされました。そこにおける何年かの奉仕は、ついに彼女の健康を害してしまいました。ある時、小さな部屋で集会をしており、暑さはひどいし、婦人達がその部屋いっぱいすわっているため、彼女はすっかり疲れて放心状態になりました。思わず姿勢も崩れてそばにいた女性の方にもたれかかっていきますと、「今日は先生はお疲れでいらつしやるな・・・」

と感じたその女性は、それとはなしに、先生の体を支えようとした。一方から力のかかるのを感じた彼女は、自分あまりにもよりすぎたかと思つたのでしよう。そと身を引きました。その時、その女性は、婦人宣教師の耳に口を当てて、静かに言いました。

「先生、もし私を愛しておられるなら、もつとわたしに寄りかかってください。」
この宣教師はその後まもなく、アメリカに帰らなければならなくなり、健康を害して、何度か激しい苦しみを経験しなければなりませんでしたが、病床にあつて、見舞いの人々に、語るのでした。「もしわたしを愛するならば、もつと私に寄りかかれ」とは、今、あのベルシャ婦人の言葉としてではなく、愛するイエスご自身の口からのお言葉として、私の耳に聞こえております。」

あなたは、真の平安を、また安心して寄りかかることのできる方をお持ちでしょう？キリストの平安は、人の理解をこえたものであり、それは戦いの最中の平安、動乱の只中の静寂です。
お読みくださったあなた様も、ぜひ、キリストを心にお迎えになり、永遠のいのち、まことの平安を得られますように、心よりお勧め申し上げます。

パステルアート教室のご案内

絵を描くということは、セルフヒーリングにつながります。
色を楽しむということも、心を開放したり、内面を見つめるのに役立ちます。
パステルは穏やかで温かい“光”を表現するのにとてもすぐれた素材です。
色と色がまざることで、そこから思わぬハーモニー(調和)がうまれます。
やさしくて心地よく、そして透明感のある

“世界でたったひとつのあなたの作品”

を描いていきましょう！

～簡単・キレイ + 楽しい・嬉しい + 優しい気持ちになれる～

- * 絵の上手い、下手は、まったく関係なく簡単に描くことができます。
- * 色や形や構図は自由で、何のルールもありません。
- * 子供のころに戻った気分で、うきうき、わくわくしたうれしい気分になります。
- * お互いの絵を見せ合う時間の楽しみは格別です。
- * 絵を描き始めるきっかけになります。
- * その日のうちにサインをして、額に入れて飾ることができます。
- * お友達へのプレゼントにしても喜ばれます。

(「パステル和(NAGOMI)アート」の特徴と魅力より)

毎回、1枚の絵を仕上げます。(初心者大歓迎！)

第2・第4 水曜日 10時～12時 または 午後1時半～3時半

月謝： 3000円

入会金：3000円 (いつでも見学できます)

場所 めぐみバプテスト教会

お申込み、お問い合わせ先

JPHAA公認準インストラクター 上嶋(かみじま) ひとみ

TEL. : 080-6671-7687

メール: awaken1103@yahoo.co.jp

(＊ホームページに、パステルアート作品が掲載されています)

めぐみバプテスト教会の6月のご案内

6/15(日) 午前10:45～ 父の日集会 (お父様の皆さん、是非、おこしください！)

(＊教会の集会は、どれもすべて無料です)

めぐみバプテスト教会は、あなたのお役に立ちたいと願っています。何でもご相談、御質問下さい。

どなたでも、お越しいただけます。ご来会、ご連絡、心より御お待ちしております。

(牧師、湯浅修)

あとがきにかえて

「めぐみの糧」第6号をお読み下り、
ありがとうございます。

今号は、「イエスキリストの与える
平安」について書いてみました。人は、
いつの時代にも、「変わらないもの」を
求め続けており、今もその希求は止
むことがありません。

西方教会最大の教父といわれた、
アウグスチヌス(Augustine)は、その著
書『告白』で、真の平安についてこ
述べています。

「神さま、あなたは私たちを
ご自分に向けてお導きになりました。
ですから 私たちの心は
あなたのうちに憩うまで
安らぎを得ることができなのです。」

「草は枯れ、花はしぼむ。だが、
私たちの神のことは永遠に立つ」

(イザヤ四〇章)

「すべて、疲れた人、重荷を負っている
人は、わたし(イエスキリスト)のところに
来なさい。わたしがあなたがたを休ま
せてあげます。」

わたしは心優しく、へりくだっている
から、あなたがたもわたしのくびきを
負って、わたしから学びなさい。そうす
ればたましいに安らぎが来ます。」

(マタイの福音書十一章)

